



大きな掃き出し窓を開ければ中庭とリビングが一体となって、よりいっそう広々とした空間に。



ペイマツの化粧梁が印象を引き締めるリビング。収納をたっぷり設けたおかげで家具が不要になり、すっきりとした雰囲気。



「リビングやキッチンから中庭が見渡せるので、子どもを遊ばせながら家事をしても安心」だとか。



夏は水遊びスペースにもなる中庭。愛娘の楽しそうな姿に思わずほほがゆるむ。

光と風に満ちた中庭を中心に  
すべての部屋がつながる  
コミュニケーション空間。

質感や風合いの異なる「黒」と「白」をバランスよく取り入れた、デザイン性あふれる外観。タイルや石をイメージした黒の外壁と、シンプルな塗りを施した白の外壁が、スタイリッシュな暮らしを想像させる。扉を開けると、そこは自然塗装で仕上げたカエデの無垢材の床と、柔らかな色調の紙クロスが調和する落ち着いた空間。廊下奥のガラス越しに見える、中庭の花壇が清々しい。

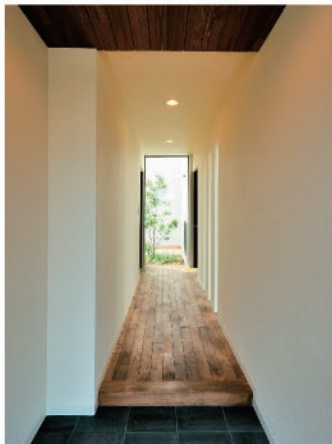


「シンプルな色合わせなのに、メリハリのあるデザインが気に入っています」と奥さま。

そんな当邸にこの六月から住まうのは、三人家族のS家。「大手住宅メーカーではなく、小さな会社のほうが、要望を叶えてくれるはず」。そう考えていた夫妻は、「コムハウジング」のオープンハウスをひと目で気に入り、昨夏から担当の賀山真明さんとともに家づくりに取り組んできた。

う。土地探しから始めたこともあり、設計図という形にするまでに、幾度も打ち合わせを重ねた。その内容は、家のことにとどまらず、趣味や暮らしぶり、何気ない世間話など、話題は多岐にわたった。「昼過ぎに始めたのに、ふと気が付くと外は真っ暗ということもありました。脱線が多いんです（笑）。でもそれがあったから、僕たちの考え方も分かってもらえたし、たくさんの選択肢を提案してもらえたと思います」とご主人。いっぽう賀山さんは、「漠然とした話のなかで感じ取った生活スタイルに合わせて、設計できました。そして、じっくりと話をすること、わたしたちの家づくりに対する思いや、中庭を提唱する意図を理解していただけた」と振り返る。

夫々が希望したのは、リビングに家族みんなが集まる家。そのため、中央に「まごころ」と横になって寛げる「畳」を敷き、一角には掘込み式のスタディオコーナーを設けた。南面を占める大きな掃き出し窓は、ウッドデッキの中庭へと続いている。「周りの目を気にしなくていいし、光と風もたっぷり入ります。空しか見えないのがいいでしょう」といって満足。カーテンも必要なく、中庭までひとつの空間のようにつながっている。部屋がいつそう広く感じられる。「友人を招いて飲み会やバーベキューをしたり。夜は湯上がりに冷たいものを片手にのんびり過ごすのが楽しいのひとつ」なのだとか。この中庭を通じて、リビングとダイニングキッチン、二階の各部屋はゆるやかに結ばれている。「家のどこにいても、中庭をとおしてお互いの気配を感じられるんです」。現在、育児休暇中のご主人は、「何より、子どもを遊ばせているときに、勝手に外に出る心配がないので安心」と笑顔に。



落ち着いた色調の玄関から廊下のなかで、ガラス越しの中庭の緑が鮮やかに映える。

感性ある住まい やすらぎの住宅

com HOUSING



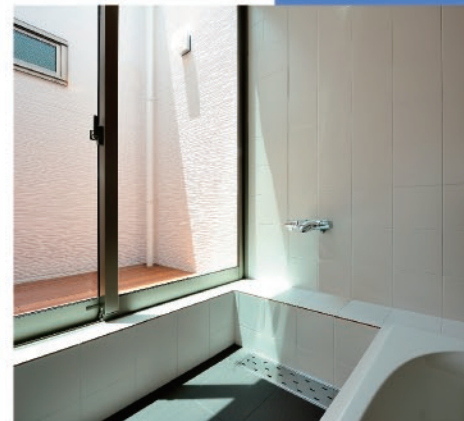
岡山市北区十日市中町6-22  
☎0120-67-2102 fax.086-223-2103  
◆営業/10:00~17:00  
◆休/水曜・祝日  
※オープン時間外もご連絡をいただければ相談に応じます。  
http://www.comhousing.com  
※「オセラ」掲載のバックナンバーはホームページでご覧いただけます。



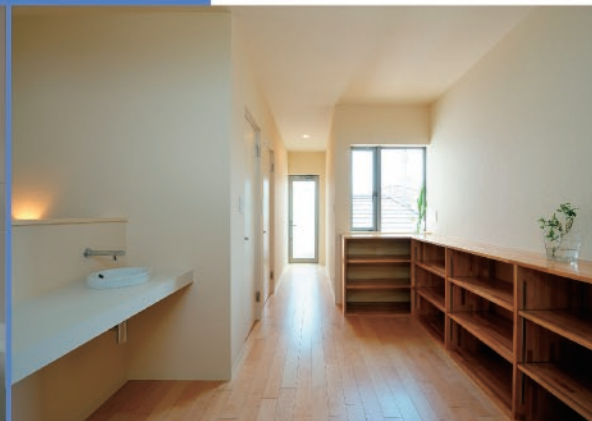
コムハウジングが考える「中庭.style」

- 道路や隣家からの視線を遮ることで、カーテンがなくてもプライバシーを確保。
- 部屋と中庭の一体感で、開放的な空間を実現。
- 中庭に面する大きな窓から光と風をぞんぶんに室内に採り入れることで、移ろいゆく四季を感じる。
- 家事をしながら「目の届く屋外(中庭)」で子どもを遊ばせられる。
- 昼は人目を気にせずバーベキュー、夜はムードにライトアップするなど大人が遊べる空間。
- 道路面に大きな窓がないので防犯上も有利。
- 中庭は屋外なので建ぺい率に算入されないため、敷地をいっぱい有効活用できる。
- 庭を建物内に取り入れることで家が大きく見える。
- 中庭に面する一角にお風呂をつくり、「プライベート露天風呂」感覚でバスタイムを楽しむ。

ウッドデッキのバスコートを設けた風呂では、開放感あふれる入浴タイムを楽しめる。



階段の上には、子どもの遊び場などさまざまな使えるファミリーコーナーも。



低い位置に設けられた窓から中庭の様子がかがえるようになっている和室。一角にはご主人が希望していたホビーコーナーも。



リビングの一角に設けたスタディオコーナー。「今は僕の仕事スペース。将来は子どもがここで勉強してくれるといいな」とご主人。

